コミュニティデザインとビジネス科目群

科目コード	OG275	科目名	サステナブルコミュニティの思想と実践	科目群	第 2 群
担当者	大和田　順子（オオワダ　ジュンコ）				
開講日程・時限	夏期集中 9月 6日、7日、8日（10:00～ 17:00）	授業方式	対面	単位数	2 単位
備　考	履修人数制限なし				
授業の目標	SDGs は世界共通の課題とその目標ですが、私たちの暮らしとも密接な関わりがあります。本講座では、SDGs の視点から私たちの暮らし、都市部と農山村コミュニティとの関係・支え合い、サステナブルな社会の実現について考えます。				
授業の内容	私たちが暮らす首都圏は食料やエネルギーの自給率が大変低く持続可能とはいいがたい状況で、農山漁村や世界に支えられています。一方、農山村の多くが過疎・高齢化で持続可能性が危ぶまれています。本講座では SDGs の自然資本関連の目標に注目し、有機農業や生物多様性等の政策や関係人口、農泊等の取組に着目します。また、フィールドワークを通じ、都市農村協働による新たな価値創出（ソーシャル・イノベーション）や、サステナブルな暮らし・地域・社会について考えます。				
授業計画	第 1 日　第 1 回　オリエンテーション：自己紹介、SDGs、サステナビリティ 第 2 回　「世界農業遺産」事例 1 ：山村（宮崎県高千穂郷地域）他 第 3 回　「世界農業遺産」事例 2 ：農村（宮城県大崎地域）他 第 4 回　「大崎耕土 SDGs クエスト」（グループワーク） 第 5 回　有機農業や生物多様性を活かした地域づくり 第 2 日　第 6 回　フィールドワーク：持続可能な地域づくり　～埼玉県 第 7 回　小川町・有機の里～ 第 8 回　講話（有機の里づくり）、見学（霜里農場、町内施設）、 第 9 回　体験（有機野菜里山ランチ） 第 10 回　意見交換（SDGs 時代の新たなライフスタイル） 第 3 日　第 11 回 フィールドワークの振り返り、和食文化と風土 第 12 回『食べものから学ぶ世界史』と『スローフード宣言』 第 13 回 関係人口・農泊（アグリツーリズム） 第 14 回 世界の課題とこれからの私たちの暮らし ＊状況により第 2 日の実施方法・内容に変更が生じる場合がある。				
成績評価方法	平常点およびレポート試験の総合評価				
講義中に直接使用する教科書	適宜資料を配布します				
上記教科書以外の参考図書	平賀緑、2020、『食べものから学ぶ世界史』、岩波ジュニア新書、902 円（税込）。 大和田順子他、2022、『SDGs を活かした地域づくり』、晃洋書房、2,200 円（税込）。 アリス・ウオーター、2022、『スローフード宣言』、海士の風、1,980 円（税込）。				
その他（HP 等）	http://collections.unu.edu/view/UNU:6398#viewAttachments イヴォン・ユー責任編著者、2018、『世界農業遺産への道のり』、国連大学				